

平成 23 年 3 月 11 日
新日本製鉄株式会社

新日鉄のチタン 大谷美術館賞を受賞

～日本瓦の風合いを巧みに再現した浅草寺本堂チタン屋根が評価～

新日本製鉄株式会社（社長：宗岡 正二 以下、「当社」）は、平成 22 年度大谷美術館賞「大規模チタン製段付本瓦葺き屋根の実用化（浅草寺本堂）」を、浅草寺、清水建設㈱と 3 者で共同受賞致しました。当社としては、平成 16 年度の「伝統美・夢素材の屋根 アルミナブラスト仕上げのチタン屋根・外装材」、平成 18 年度の「チタン製段付き本瓦葺き屋根及び鬼瓦（浅草寺宝蔵門）」に続いて 3 度目の受賞となります。

（表彰式は 3 月 10 日 大谷美術館で行われました）

大谷美術館賞は、材料表面の美的評価向上に関する優れた作品および顕著な技術・業績を表彰するために、平成 15 年度に大谷利勝館長が創設された賞です。

今回の浅草寺本堂の外部改修工事では、同寺宝蔵門屋根への採用実績が評価された結果、面積が 3 倍ほどの本堂屋根でも、これまでの日本瓦にかえてチタン瓦が採用されました。当社は、素材メーカーの立場から本瓦葺き用に良加工性軟質材を供給し、宝蔵門向けでは 2 種類だった表面仕上げを、更に緻密な光沢度のコントロールを行うことにより 3 種類に増やし、それらを屋根面にランダムに配置し施工することで、日本瓦の風合いを巧みに再現致しました。屋根施工は、宝蔵門に続いて株式会社カナメが行いました。

当社は、今後ともチタンの特性を活かし、伝統的日本建築等においてもチタンの適用拡大を図っていきます。

<物件の概要>

物件名	「浅草寺本堂外部改修工事」
場所	東京都台東区浅草
施主	宗教法人 浅草寺
設計・施工	清水建設株式会社
チタン瓦製造・屋根施工	株式会社カナメ
施工面積	3096.8 m ²
チタン使用量	15 トン(アルミナブラスト仕上げ*)
完工	平成 22 年 11 月

*日本瓦の風合いを再現するために、アルミナ微細粒をチタン表面に投射して微細な凹凸をつける表面処理方法

（お問い合わせ先） 総務部広報センター TEL：03-6867-2146

以 上

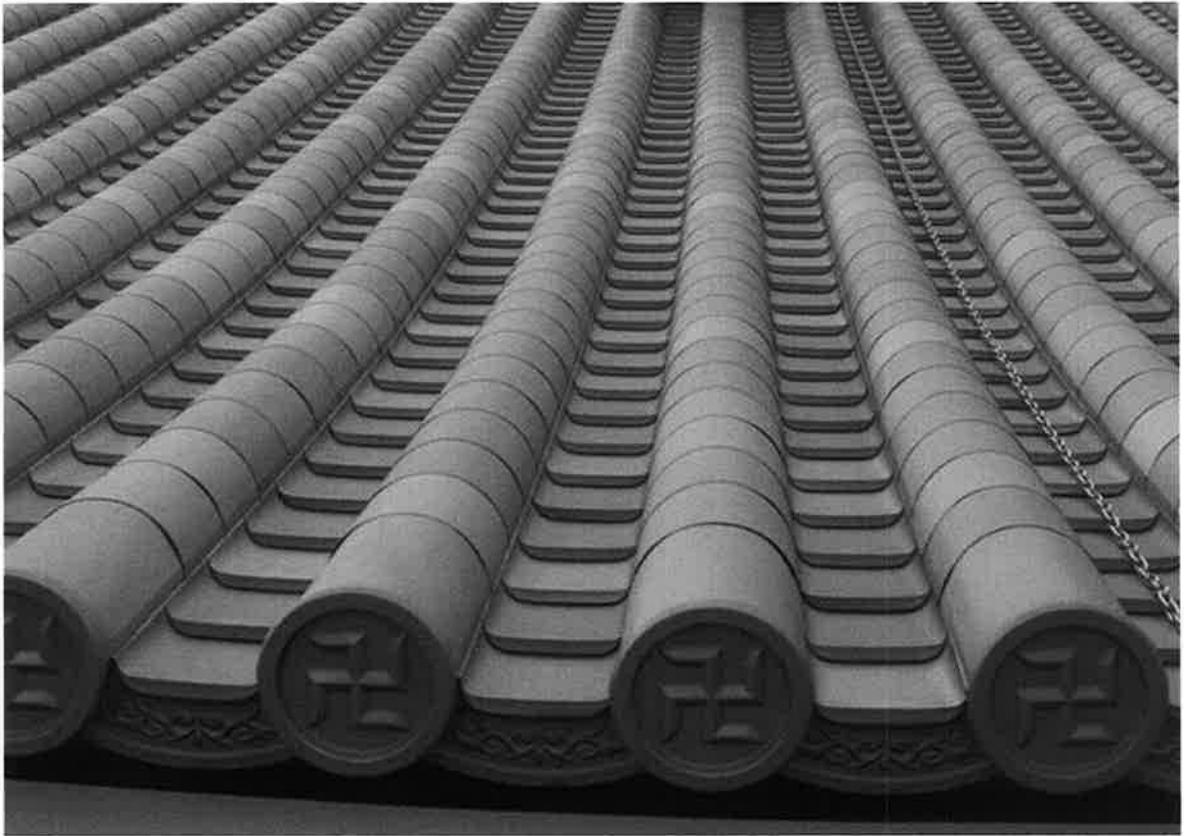
<参考>



浅草寺本堂 全景



本堂破風部 近接



チタン瓦拡大